

※黎明(れいめい)：明け方、夜明けの意

特集：地域連携パスについて  
話題：人間ドックのオプション検査のご紹介 ほか

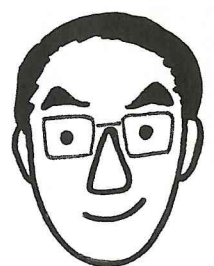


三科院長と佐藤副院長(看護部長)と今年度新規採用職員

## トピックス

### 「卒業と入学」

院長 三科 武

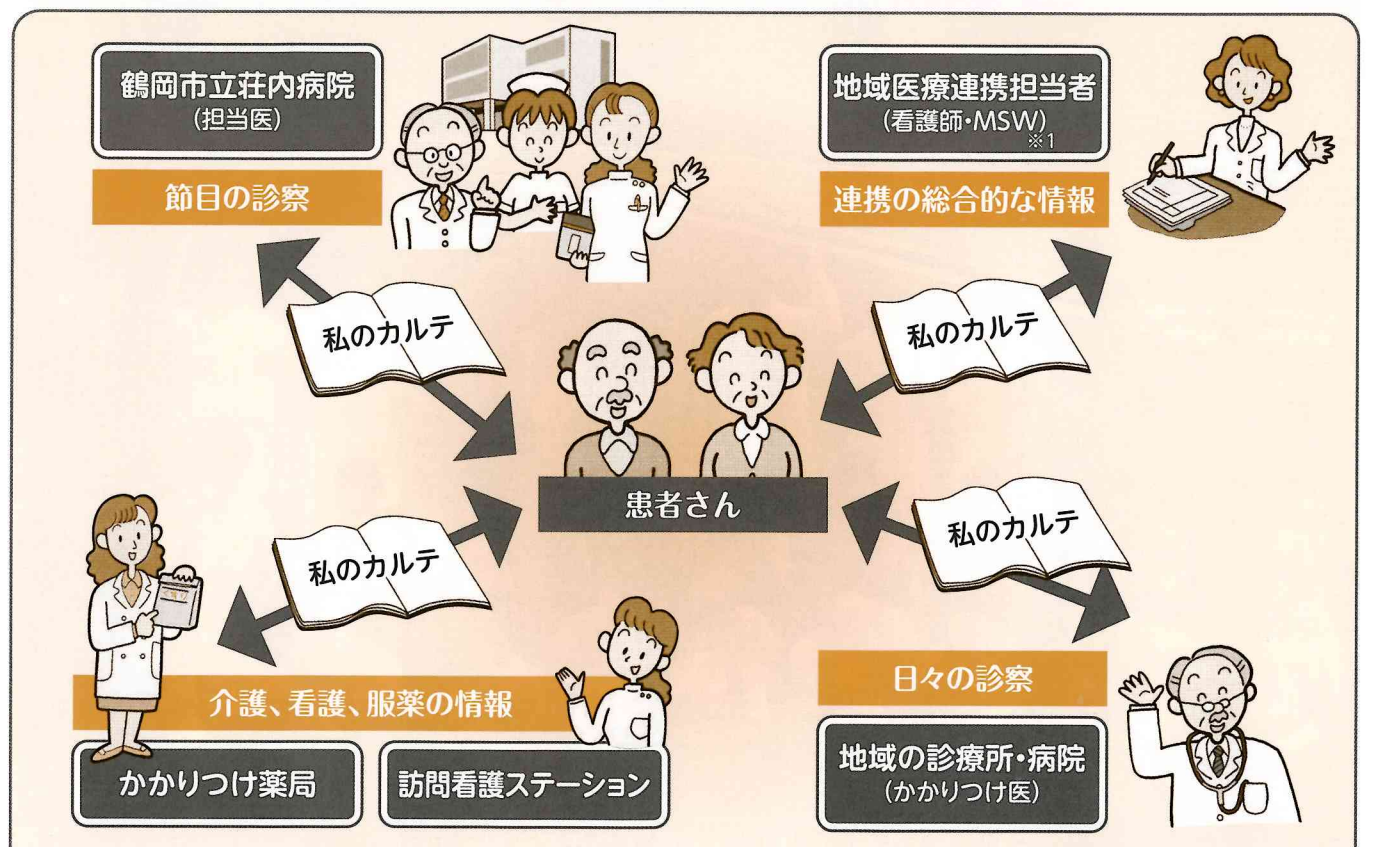


毎年の事ながら春は卒業と入学の季節。病院でも去る人と新しく来る人が交錯します。新たなメンバーを迎えより活動力を高め、良い医療の提供ができればと考えております。

さて今年度は診療報酬改定の年です。かなり大きく変わり病院それぞれの機能を強く押し出すことが必要です。急性期、回復・リハビリテーション期、慢性期などの病気のステージに合わせた病床機能が評価されることになりました。また外来診療は地域の診療所での入院機能は病院でという地域完結型の医療と介護の一体化が進められております。今まで以上に地域医療連携を押し進めなければなりません。超高齢社会にあっても地域の皆さんが安心して生活できるような環境を目指したいと思います。

荘内病院も今までの環境から卒業し新しい医療のステージへと一段階上へ入学する必要があります。多くの皆様のご協力が必要ですので宜しくお願いたします。

# 地域連携パスで広がる 安心のネットワーク



## 地域連携の図

※1 MSW…医療ソーシャルワーカー。  
患者さんから寄せられるさまざま  
な相談に応える相談援助職

パスとは、「クリニカルパス」または「クリティカルパス」の略称で、患者さんに対して行う診療内容や治療経過などをまとめた診療計画のことです。そして、急性期病院から回復期病院を経て、早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療に関わる全ての医療機関で共有して用いるものを、「地域連携クリニカルパス（以下地域連携パス）」と呼んでいます。荘内病院では、患者さんを中心に地域の医療機関と情報交換を行い、より良い医療と安全を適正に提供するために、「地域連携パス」を活用しています。

現在、庄内南部地域連携パス推進協議会（※2）では、「脳卒中」「大腿骨骨折」「急性心筋梗塞」「糖尿病」「がん」の5疾病について、地域連携パスを運用しており、（ただし5疾病に該当しても、全てのケースで適用される訳ではありません）協議会では電子システム化し、各医療機関では通信ネットワークを介し、やりとりをすることができます。

地域連携パスを使うことによる患

者さんのメリットは、①治療の流れが見通せる ②病院と診療所の連携が図られ、主治医が複数になり、異常の早期発見やきめ細やかな対応が受けられる ③共同の診療計画で治療するので、同じ検査や投薬が避けられる ④近くの「かかりつけ医」を受診することで、通院時間や交通費、待ち時間が減る などが考えられます。

地域連携パスは、転院や退院する際の連絡箋として使われるほか、数年後まで様々な治療や検査などを組み込むことができ、一貫した治療を行うことができます。患者さんの病状の変化や、治療の方針が変更された場合には、外れることもあります。

庄内病院では、患者さんの療養生活や診療の方針に地域連携パスがあつているかを検討し、利用した方が良く考えた場合にお勧めしています。関係する医療機関、患者さん・ご家族と相談しながら運用し、変更や中止にも対応します。

今後も庄内南部地域連携パス推進協議会ではより良い運用をめざし、



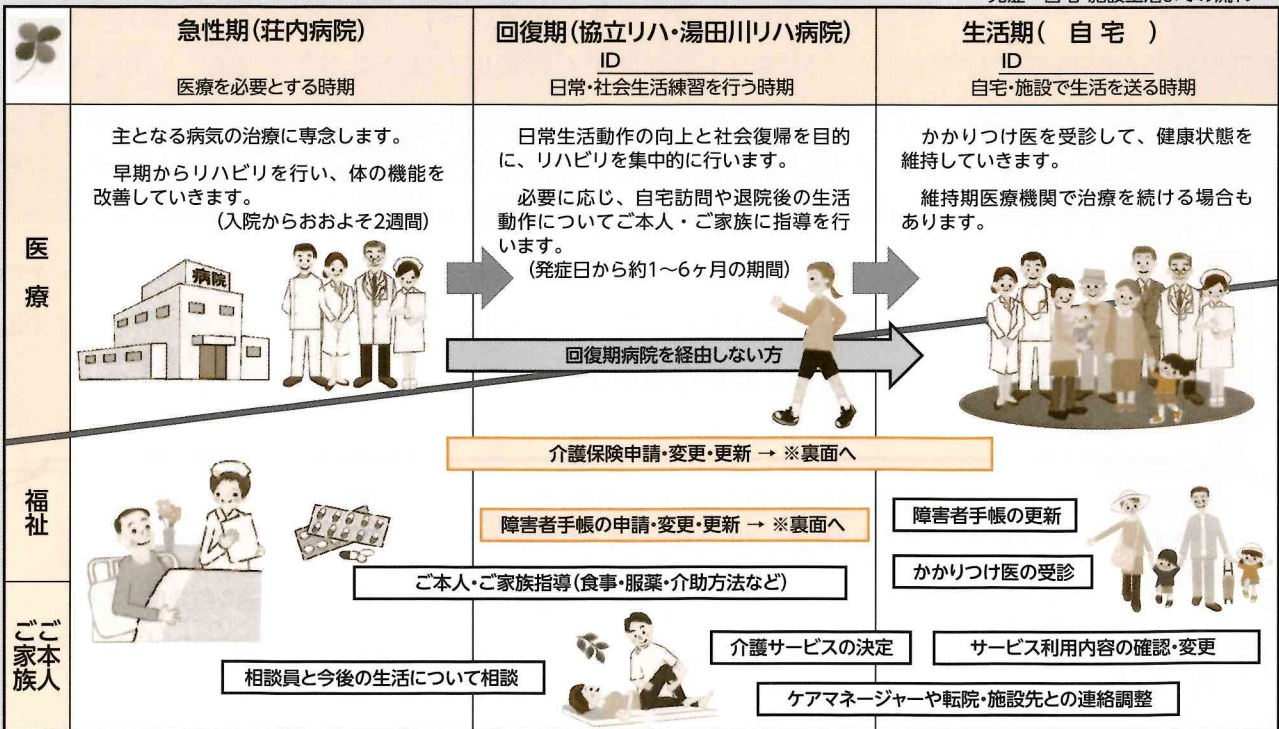
脳卒中連携パスを適用している患者さん・ご家族にお渡ししている「わたしの健康ノート」より。内容は、下図の脳卒中パス説明図のほか、血圧チェックグラフ、自己チェックシート、転倒予防体操のやり方や脳卒中予防12か条などが記載しており、患者さんやご家族がより良い療養生生活を過ごせるようになります。

検討を重ねていきます。

※2 庄内南部地域連携パス推進協議会 地域連携パスの円滑な運用のために、鶴岡三川地区の病院・開業医等が集まり検討している会。

### 脳卒中パス ご本人・ご家族用

氏名 ○○ ○○ 様 パス番号 △○□ 庄内病院 ID ○○○○ 発症日 H○.○.○  
発症～自宅・施設生活までの流れ



※患者さんの状態により、経過が変わります。疑問な点、気付いた点がありましたらいつでもお気軽にご連絡ください。

居宅介護支援事業所名 ○○○○ TEL ○○-○○○○  
 担当ケアマネージャー氏名 ○○○○

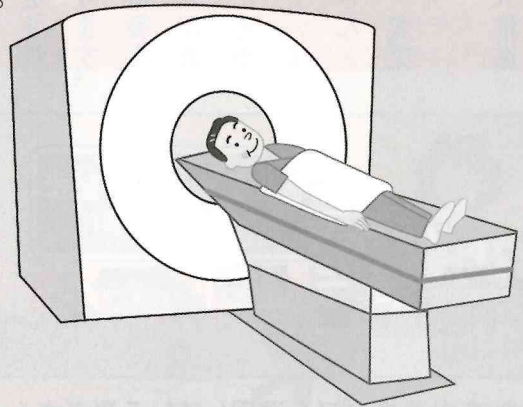
# ～人間ドックのオプション検査に CTによる肺がん検査を導入しています～

4月から、人間ドックのオプション検査で、CTによる「肺がん検査」を受けられるようになりました。この検査により、肺の状態を詳しく観察することができ、肺・気管・気管支の病気の発見・診断に役立ちます。特に次のような方にお勧めです。

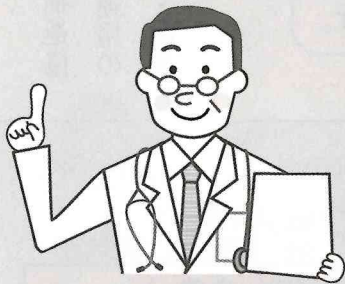
- ▶ 1日の喫煙本数×喫煙年数＝600以上の方
- ▶ 他の人のたばこの煙を吸い込む機会の多い方
- ▶ せき、たんが続いている方

一日の受入人数に限りがありますので、ご希望の方は人間ドックの予約時にご相談ください。

予約・問合せ：0235-26-5111(代表)



## ～医師より一言～(呼吸器外科主任医長 正岡俊明医師)



二人に一人が「がん」になるといわれる時代です。がんにかかるとはある程度仕方ないとすれば、がんに対する備えとして最も重要なのは“早期発見”です。肺がんは臓器別の死亡率が男性ではトップ、女性では2位です。なぜ肺がんの死亡率が高いのか？その原因は、「肺がんは早期発見が難しい」ことにあります。肺がんは早い段階ではほとんど無症状です。また、検診で皆さんが受けられる胸部レントゲン検査は肺がん発見に有効な検査ではありますが、早期の小さな肺がんの検出率は高くありません。しかし胸部CT検査は早期がんも含めてほぼ全ての肺がんを発見することができる非常に優れた検査なのです。毎年のレントゲン検査以外にも数年に1回CT検査を受けることは肺がんの早期発見にとっても有効です。肺がんも早期であれば手術により治癒率は高く、決して不治の病ではありません。

当院では最高性能のCTを配備し、2015年2月から稼働しております。4月からは人間ドックのオプション検査として胸部CT検査を受けていただけるようになりました。ぜひ、肺がんに対する備えとして市民の皆様にご利用いただきたいと思っております。

### ●病院憲章 高度・良質な医療と心のこもった患者サービスで地域医療を担う基幹病院

- 基本理念
- ・ 診療圏域住民の生命と健康を守り、高度かつ良質な医療を提供し、地域医療機関との機能連携を強化しながら、基幹病院として地域医療の充実に努める。
- ・ プライバシーの尊重とアメニティーの向上に配慮し、患者が安心と満足が得られる、快適な療養環境の整備に努める。
- ・ 医師や看護師をはじめ、病院で働く職員が一致協力し、心のこもった患者サービスの向上に努める。
- ・ 医療従事者の教育と臨床研修を重視し、市民から信頼され、地域医療に貢献できる、質の高い医療人の育成に努める。
- ・ 医療環境の変化に対応できる経営方針を確立し、安定した経営の基盤づくりに努める。